
令和6年 10月17日

日本イコモス国内委員会 都庁記者クラブ 会見内容

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目 26 番地 8

神田小川町三丁目ビル 4階

文化財保存計画協会気付（一社）日本イコモス国内委員会事務局

日本イコモス国内委員会委員長 岡田保良

同理事・国際文化的景観学術委員会日本代表 石川幹子

連絡先：Tel/Fax 03-3261-5303

Email jpicomos@japan-icomos.org

完膚なきまで破壊される 神宮外苑の文化的遺産（Cultural Heritage）

神宮外苑は、国民の献金・献木・勤労奉仕により、つくりだされた文化的遺産です。20世紀初頭の都市美運動にもとづき、「近代風景式庭園の林泉」として創り出され、スポーツ施設も自然と調和する設計が行われました。

この文化的遺産を象徴するものが、絵画館前に広がる芝生広場であり、この自由な空間を包み込むように絵画館、疎林が配され、いちよう並木が形成されました。樹林地は伐採され、芝生広場は会員制テニスコートとなります。

地球温暖化の直撃を受け、衰退が急速にすすんでいるイチヨウ並木、直近には、ヒートアイランド現象を加速させる超高層ビル、ホテル付神宮球場が建設されます。建設のための地下杭は40mにも及ぶものであり、地下水遮断の影響も、全く検討されていません。

このように、今回の再開発事業は、神宮外苑の文化的遺産を完膚無きまで破壊するものであり、世界イコモスが、ヘリテージ・アラートを発し、中止を求めた理由です。

かけがえのない文化遺産が東京から失われることに、世界の人びとが、重大な懸念を抱いておられます。事業者、そして事業の施行認可を行った当事者である東京都におかれましては、謙虚に都民、そして世界の人びとの声に耳を澄まされますよう、重ねて要請いたします。